

令和8年度 花巻市 花苗配布 事業のご案内

市では、花いっぱいのまちづくりを推進するため「花壇等実践者」に対し花苗を配付しています。

あなたも花壇等実践者になって地域の花壇や自宅の庭先を花いっぱいにしませんか。



✿初めて配布を受ける方

最初に花壇等実践者登録が必要となります。花壇等が次の要件に当てはまるこことを確認の上、令和8年2月13日（金）までに電話または専用フォームで都市政策課にご連絡ください。

電話：41-3569

フォーム：

<花苗を配布できる花壇等>

①道路に面している花壇やプランター、街路樹など

(個人宅や事業所の花壇・プランターも対象となります)

②コミュニティ花壇として市が整備した花壇

③多くの方が利用する施設の花壇 (例：公民館、学校、保育園、幼稚園、福祉施設など)

✿花壇等実践者登録済みの方

令和8年1月23日（金）までに、郵送した申込書に従って夏苗の配布をお申込みください。

✿配布する花苗の本数

・花壇の場合

1平方㍍当たり10本程度

・プランター(65型)の場合

1個当たり3本程度

※申し込み多数の場合、ご要望通りの本数を配布できない可能性があります。あらかじめご了承ください。

✿配布する花苗の種類・色

夏苗（5月下旬～7月上旬配布）



ベゴニア（赤、桃紅、白）



アゲラタム



サルビア（青、赤）*1



マリーゴールド（黄、橙）



ジニア（白、黄）



インパチェンス（ミックス）*2



ケイトウ

*1 サルビア赤は花が小さめの品種です。背が高く花も目立つ赤をお求めの場合は、ケイトウもご検討ください。

*2 インパチェンスは赤系6色、白1色、合計7色の苗を混合して配布します。色の指定はできませんので、あらかじめご了承ください。

秋苗（10月配布）



パンジー（黄、青紫、赤）



シロタエギク



ビオラ（桃、白、黄+紫）

秋苗の申込は
7月ごろに手紙・HP等でお知らせします

☆☆ ワンランク上の花づくりのポイント ☆☆

【花壇の方向け】

▶連作障害を意識して花のレイアウトを決めましょう

同じ科の花を同じ場所に繰り返し植えると、必ずではありませんが生育不良がおこる場合があります。土を深さ20~30cmくらまでよく耕して空気にさらすと、連作障害がおこる可能性を下げることが出来ます。また、昨年とは別の科の花を植えることで、確実に連作障害を回避することができます。配布している花の休作期間の目安は次のとおりです。なお、新しく配布するインパチエンスはこれまで配布してこなかったツリフネソウ科の花です。

<夏 苗>

ベゴニア（シュウカイドウ科）	2年
サルビア（シソ科）	3年
マリーゴールド（キク科）	連作OK
ジニア（キク科）	1年
インパチエンス（ツリフネソウ科）	1年
アゲラタム（キク科）	1年
ケイトウ（ヒユ科）	2年

<秋 苗>

パンジー（スマレ科）	連作OK
ビオラ（スマレ科）	連作OK
シロタエギク（キク科）	1年

▶土壤改良もおすすめです

連作障害対策に加えて土壤改良も行うと、生育不良がおこる可能性をさらに減らすことが出来ます。

- ①植え付け2週間前に石灰を散布して酸度を調整する。
(撒きすぎに注意、緩効性の苦土石灰または有機石灰がおすすめです)
- ②植え付け1週間前に土壤改良材と肥料を混ぜてよく耕す。

<土壤改良剤の種類>

- 植物性堆肥（肥料成分は少ないが、高い土壤改良効果）
 - ・腐葉土...土を柔らかくする
 - ・もみ殻堆肥...水はけをよくし、粘土質の土壤に効果
 - ・バーク堆肥...保水性を高める
- 動物性堆肥（土壤改良+肥料として効果を発揮）
 - ・牛糞堆肥...土を柔らかくし、肥料分のバランスも良い
 - ・鶏糞堆肥...肥料分が多く、入れすぎに注意
 - ・豚糞堆肥...肥料を与えつつ、土壤改良したい場合に

※害虫に苗を食べられる場合は、専用の殺虫剤を肥料と同時に混ぜ込むか、植え付け後に苗周辺に散布。

花壇に使える補助事業もあります

花壇等実践者（個人を除く）が花壇の新設・補修や垣（トレリス、ラティス、アーチなど）の設置、用土の補充を行う場合に補助します。

花巻市コミュニティ花壇整備事業補助金

<対象者>

- ・市内の地域団体
- ・市内を拠点として活動する市民団体
- ・市内に住所を有する事業者

<補助額>

対象経費の2分の1（最大20万円補助）

【プランターの方向け】

▶プランターの場合は新しい培養土に入れ替えるか、土の再生を行いましょう

古い土を捨てる場所に困る方は、土の再生がおすすめです。

- ①プランターから土を取り出してほぐし、残った根などを取り除く。
- ②土を厚手の黒いビニール袋で密封して、日のあたる面を変えながら3~7日ほど日光に当てる。
(熱で虫や菌を消毒をする効果があります。ただし、完全に消毒するわけではないので、消毒後は長く保管せず早めに使用しましょう。)
- ③消毒した土と有機石灰、有機肥料を混ぜて、花を植え付ける。

【花壇・プランター共通】

▶植え付けと最初の水やりが大切です

- ①苗を取り出す際は水で湿らせ、箸やフォークなどで下からすくうようにしましょう。（苗をつかんでひっぱりだすのはNG！）
- ②夏苗の場合、植え付けから1か月程度はこまめに水やりを行い、夏の暑さに耐える丈夫な根を育てましょう。ただし、常に湿った状態だと根腐れを起こします。土が湿っているうちは水を控え、土の表面が乾いたらたっぷりと水を上げましょう。

ぜんぶできなくても大丈夫！
できる範囲で楽しみながら、
花いっぱいの花巻を目指しましょう！

